

題材名 かぼちゃを描こう

かぼちゃ —高知県—



地場産物の説明

^{かほく}香北地区では多くの野菜が生産されており、直販所を通して旬の新鮮な野菜が給食の食材として供給されている。

かぼちゃは無農薬栽培が可能で、昔から多くの農家で栽培されてきた。今はビニールハウスで苗を育てているが、昔は種を、湯たんぽやこたつで温めて発芽させ、それを苗に育て畑に植えていた。春に植え付けた後、初夏には実をつける。また、かぼちゃの葉は、ぬめりのあるうなぎを料理するのに利用すると、すべり止めになり重宝していた。「かぼちゃ」「なんきん」「ポーブラ」等と呼ばれるが、今は「ポーブラ」という呼び方をする人はほとんどいなくなった。

献立例

ごはん、牛乳、タンドリーチキン、かぼちゃサラダ、みそ汁、オレンジ

1人当たりの栄養量（小学校）

エネルギー	696kcal
たんぱく質	25.1g
脂質	24.7g
カルシウム	327mg
鉄	3.3mg
ビタミンA	412 μ gRE
ビタミンB ₁	0.44mg
ビタミンB ₂	0.60mg
ビタミンC	28mg
食物繊維	5.4g
食塩	2.4g
マグネシウム	74mg
亜鉛	4.3mg



給食の時間の指導（感謝の心）

きょうは「かぼちゃ」のお話です。かぼちゃは7月ごろから採れはじめます。夏の太陽をいっぱい受けて、たくさんの栄養が含まれている食べ物です。

きょうのかぼちゃは、学校の畑で採れたかぼちゃです。4年生のみんなが草を引いて世話をして育ててくれました。たくさん収穫できたので給食センターにもらい、5日の「みそ汁」ときょうの「かぼちゃのサラダ」に使いました。学校の畑で採れたかぼちゃの味はおいしいですか？

きのうまで玄関ホールの食育コーナーにかぼちゃを置いていましたが見ましたか？4年2組のみんなが、かぼちゃを観察して絵を描きました。その絵を玄関ホールの食育パネルに貼ってありますので、どんな風に描いているのか見てくださいね。

小学校 第4学年 図画工作科学習指導（略）案

日時 平成21年 月 日 第 校時

対象 4年 組 名

指導者 担任 (T1) 栄養教諭等 (T2)

1 題材名 かぼちゃを描こう

2 題材の目標

- (1) かぼちゃの色や形などの特徴について観察することができる。
 (2) かぼちゃの特徴が表せるように工夫しながら描くことができる。

指導計画（全2時間）

時	学習活動	評価
1(本時)	「かぼちゃ」を知り、観察して描く。	かぼちゃをよく観察して描こうとしている。
2	「かぼちゃ」の味を感じて、画を仕上げる。	表し方を工夫して描こうとしている。

3 本時（1/2時）

- (1) 本時の目標
 学校農園で育てたかぼちゃと地元でとれたかぼちゃの色や形を比べて、観察して描く。

〈食育の視点〉

農産物の旬を知り、観察し描き、また給食の食材として味わうことで、食べものへの興味・関心を高める。
 （食品を選択する能力）

(2) 学習過程

		学習活動	指導上の留意点	備考
導入	5分	1 本時の学習課題を確認する。 かぼちゃをよく見て描こう。	○ 学校農園で収穫されたかぼちゃを描く対象とすることで、表現の意欲を高めさせる。(T1)	
展開	35分	2 かぼちゃが畑にあった様子を思い出す。 3 地元でとれたかぼちゃと自分たちが育てたかぼちゃの違いを比べる。 4 丸のままのかぼちゃや、半分に割ったかぼちゃの様子を観察する。 5 かぼちゃを観察して描く。	○ かぼちゃを見せ畑でどのような状態であったか思い出させる。(T1) ○ 地元のかぼちゃを提示し、色や形の違いを比べられるように支援する。(T2) ○ かぼちゃの描き方を助言する。(T1) ○ 縦や横に切った時の中の様子を示し、切り方によって形が違うことが分かるように支援する。(T2) ○ 完熟、未熟の違いや色によっておいしさや栄養価が違うことを助言する。(T2) ○ かぼちゃの特徴が表せるような工夫について、一人一人の実態に応じて支援する。(T1、T2)	学校農園で収穫されたかぼちゃと地元のかぼちゃ
まとめ	5分	6 次時の学習内容を知る。	○ 次時の学習内容を知らせる。	

(3) 評価

学校農園で育てたかぼちゃと地元でとれたかぼちゃの色や形を比べて、観察して描くことができたか。